

○ 関東146号

1. 来歴

- 1) 系統名 関東146号 (旧系統名 作系49)
- 2) 交配組合せ べにはるか × 作系22
- 3) 用途 青果など

2. 特性の概要

1) 主な特性

萌芽性はやや良。いもの皮色は赤紫、肉色は黄白であるがカロテンを少し含み橙色を帯びる。いもの形状は短紡錘形で揃いはやや整、大小は中で、揃いは中である。皮脈と裂開は無、条溝は微で、外観は中である。上いも重は無マルチ標準栽培、マルチ標準栽培ともに「タマユタカ」より重く多収。蒸しいもの肉色は淡橙で、肉質はやや粘、調理後の黒変はやや少、食味は中である。蒸切干の肉色は橙で、肉質はやや粘、シロタの発生は微、食味はやや上である。病虫害抵抗性は、ネコブセンチュウに強、立枯病に弱、つる割れ病にやや強、黒斑病に中(単年度)である。貯蔵性は中である。本系統は、カロテンを有する肉色に特徴があり、多収性を備え、肉質がやや粘質で蒸切干の食味が良いことから、加工用かんしょとして有望である。

2) 育成地における栽培試験成績(平成27年度)

① 無マルチ標準栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重(kg/a)	対標準比(%)	上いも1個重(g)	1株上いも数	切干歩合(%)	いも			蒸切干				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	繊維	シロタ	食味
関東146号	342	114	201	3.6	30.2	中	赤紫	短紡～球	橙	やや粘	中	微	やや上～上
標)タマユタカ	299	100	261	2.4	29.5	中	帯紅淡黄白	紡～短紡	灰白	やや粘	中	やや少	やや上
比)べにはるか	158	53	119	2.9	33.3	中	赤紫	紡	黄白	粘	中	微	やや上～上

② マルチ標準栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重(kg/a)	対標準比(%)	上いも1個重(g)	1株上いも数	切干歩合(%)	いも			蒸切干				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	繊維	シロタ	食味
関東146号	304	129	227	3.6	30.6	やや上	赤紫	紡～短紡	橙	中～やや粘	中	無	やや上
標)タマユタカ	235	100	250	1.9	28.2	中	帯紅淡黄白	紡～短紡	灰白	中	中	少	中～やや上
比)べにはるか	152	65	165	2.2	35.3	やや上	濃赤紫	紡～長紡	黄白	やや粘	中	微～少	やや上

③ 萌芽性、貯蔵性および病虫害抵抗性

品種・系統名	育成地		病虫害抵抗性(育成地)				
	萌芽性	貯蔵性(H26)	ネコブセンチュウ		立枯病(香取)	つる割れ病	黒斑病
			場内(谷和原)	現地(香取)			
関東146号	やや良	中	強	やや強	弱	やや強	中
タマユタカ	やや良	やや難	中	中	弱	やや強	やや強
べにはるか	中	やや易	やや強	強	やや弱	やや強	やや強